

て行く事と思ふ。或る視學が數年前、小學校初年級で、手工の初歩と其の仕事に必要な子供等の間の禮儀の交換とを以て「教育の神聖を汚すもの」とした事があつたが、其の人も今日は熱心なモンテッソリーの辯護者となつて居る。たとへ視學の反對があつても、自由と、自ら活動に關する

自分の理想とをその細目の中に働かせる事は出来るのである。況して、賢明なる、如才ない保母ならば、いつかは、視學に、よし自分の主義に全然同意させる事は出来ないまでも、其の實行を承認せしめる事は出来ると思ふ。

玩具は發見發明の一街道たること

藤 五代 策

凡ての子供は活動的で、物事を破壊し、又建設する性能を有つてゐる、しかも時々刻々に變化し、新規を好み不思議を歡ぶ氣風を具へてゐる、玩具はその潑刺たる子供の心理状態と全く適合してゐるところに、大なる價值特徴が籠れるのである、或人が玩具の生命は意匠にありと絶叫したのも味ふべき眞理であらふ、夫れ故玩具を考案し製作するものは、是非とも兒童心理に精通しおくことが肝要である、或る時獨逸で五百人の子供を集め、彼等の最も好める犬の

畫を描かせ、其の特徴を探りて玩具に作り非常に歡迎されたと云ふことである、又此の國では時々多額の賞金を投じて玩具圖案の懸賞募集をやる、さうすると國內の錚々たる教育家、宗教家、工業家などが先を争ふて應募するのである、これがため當國の玩具は一般に斬新奇抜なものが多く、子供には最も多く愛玩されるのである、斯様に面白い玩具を智識慾旺盛な子供に與へることは、恰も大旱に豪雨の天恵あると同様で、如何に彼等をして工夫發明の動機を附與

するであらふか、少し智力の進んだ子供は、一の嶄新な玩具を見ると、之を手本として直ちに同様のものを模造するか或は之を参考して、他の玩具を創作するのである。而して其の創作は申すまでもなく彼等子供の發見發明の發露である。

彼の發明家が高尚複雑なる器械類を發明する際にも、必ず玩具と云ふ一大街道を往復するものである。「ワット」の蒸氣機關、「フランクリン」の電氣、「エジソン」の電話、蓄音機、活動寫眞等の發明の如き、之を大成するまでには幾千回、幾萬回かの雛形を作り、實驗に實驗を重ねて、遂に蓋世の大發明をなし遂げたのである。而して此の雛形と云ふは所謂玩具のことであつて、發見發明進行中の一大街道だと謂ふことも出来やう。

農商務省の特許局にては、各種の特許要目に次の如き區別が示してある。

- 一、發明。從來世ニ存セサル新規ノ物品又ハ方法ノ案出。
- 二、實用新案。從來世ニ存在セル物品ト雖モ其ノ形ノ構造又ハ組合上ノ新規ノ實用アルモノ、考案。

三、意匠。或物品ニ美シキ外觀ヲ呈セシメ趣味ヲ與フル考案。

四、商標。生産、製造、加工、選擇、證明、取扱又ハ販賣ノ營業ヲナス者カ、自己ノ商品ヲ他ノ同種商品ト區別セシカ爲メニ使用スル標識。

近時我が國人の發明熱も漸次旺盛に赴きつゝあるも、之を歐米の諸先進國に比べると、甚だ幼稚なもので到底比較にはならない今参考のため最近の調査に掛る我邦各種の出願數を、掲げて見やう。

種類	一ケ年の出願數	一日の平均出願數
特許	一一、〇一七	三〇
實用新案	一九、七一七	五四
意匠	二、七七六	八
商標	二四、八六五	六八

次に世界各國に於ける發明特許の數を示せば左の通りである。

國名	一ケ年の出願數	一日の平均出願數
北米合衆國	五七、三四七	一六九

獨逸	三〇、〇四九	九〇
英吉利	二一、八三九	六〇
佛蘭西	一一、九〇七	三三
日本	九、八八三	二七
伊太利	七、一五五	二〇
墳地利	六、八九四	一八

右表によるときは、我邦の發明特許は第五位にあり、併かも米國の六分の一、獨逸の三分の一、英國の二分の一と云ふ有様である、序に我國人と歐米人との工夫發明に關する相違を對照して見やう。

日本

- 一、偶發的のもの多く學理に缺ぐ
- 二、單純にて結果を急ぐ
- 三、家內的にして日用品多し
- 四、獨斷的にして實驗に缺ぐ

歐米

- 一、必要に迫りて考案し學理に基く
- 二、複雑精緻にして永遠的なり

- 三、大規模にして機械的のもの多し
- 四、研究的にして充分實驗されたるもの多し

此の表によりても、我國人の工夫發明は、歐米人のものに比べて甚だ幼稚であることが判かる。

由來我國人は模倣に長じ、忽ち之に達する長所を有すると共に、又多くはそれ以上に進歩することの出來ぬ短所を有してゐる、彼の獨逸人の模倣に長ずることは、我國人と酷似してゐる、併かし彼等は良く之を咀嚼して、その獨特の科學的智識を適用して、殆んど獨創的のものに改良し果すのである、かうして彼等は僅々半世紀を出でずして、先進國の佛を壓し、英を凌いで、獨逸近代の文明を作り上げたのである、我邦の如きは將に彼の獨逸を學ぶべき時機である、それ故第四十四議會にては、發明獎勵に對する建議案可決せられ、其後政府の肝煎によりて、理化學研究所の設置及び發明研究所の建築と云ふやうに、發明界も俄に覺醒して、科學的立國の基礎を樹立せんとする新傾向を生じて來た矢先き、今回の大震災大火によりて此等の計畫の大半は根本から破壊され終つたのである、併し大震災は考へ方

によりては次ぎに来る新帝都復興、産業復活の興奮劑となるのである、就中玩具は諸工業中最も速に復活し得べき幾多の特點を有つてゐるのであるから、此際凡ての玩具に新意

匠と科學力とを應用し、一般國民をして發明發見の新城に導き入れる方策、即ち玩具街道を歩行されんことを祈るのである。

雀の學校

土川五郎振付

○歌詞

(清水かつら氏歌
弘田龍太郎氏曲)

チーチーパツバ。チーパツバ、

雀の學校の先生は

むちをふり〜チーパツバ、

生徒の雀は輪になつて

お口を揃へてチーパツバ。

まだ〜ハけないチーパツバ、

も一度一緒にチーパツバ

チーチーパツバ、チーパツバ。